

防災体験型宿泊施設「KIBOTCHA」

キボッチャ

宮城県東松島市／平成 29 年竣工

- 「KIBOTCHA（キボッチャ）」は、人口約 3.9 万人の宮城県東松島市において、東日本大震災で被災し現地復旧できず移転した小学校跡を「防災体験型宿泊施設」として活用するプロジェクトです。
- この小学校跡は、被災後に土地利用の制限が課されたエリアのなかで、廃校利用を超えた新しい土地活用にチャレンジする取組であり、宿泊施設、研修ルーム、体験学習スペース、レストラン、入浴施設などを整備・運営するものです。
- 防災の視点を軸としつつ、地元企業に積極的に活用される研修事業や、市民農園、BBQ イベントなど地域密着の施設運営にも注力し、「鳴瀬かき」などの地域の特産物を活用したイベント等による他市他県からの集客にも取り組んでいます。
- 本プロジェクトは、きわめて独創性の高い取組であるものの、防災教育の観点に基づく施設運営や取組内容は汎用性があり、また、高台への防災集団移転が行われた地域である等の限られた条件のなかで、地域の重要課題である防災と観光の両面からのアプローチによって持続可能な土地活用を実現している廃校活用のモデル事例です。

事業概要

- 所在地：宮城県東松島市野蒜字亀岡 旧野蒜小学校
- 土地面積：約 9,300 m²（施設面積：約 3,000 m²）
- 事業主体：貴凜庁株式会社（管理運営主体：貴凜庁株式会社）
- 主要施設：レストラン、入浴施設、体験学習スペース、宿泊室、研修ルーム等（旧校舎）
バーベキュー施設、市民農園、駐車場（旧校庭）
- 事業スキーム等：
 - ・ 定期建物賃貸借
 - ・ 自己資金・沿岸部交流人口拡大モデル施設整備事業補助金



被災時の校舎（1階天井近くまで浸水）



現在の校舎



体験ゾーン



防災教育キャンプ